

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社 ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風 箱根ユニット		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	令和4年9月9日	評価結果市町村受理日	令和4年12月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kami=true&JigyosyoCd=2291200034-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和4年10月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今期は全社をあげて『NGプロジェクト』に取り組んでいます。これは『NO虐待』の略です。職員全員が社内動画共有サービスで「私たちはお客様と仲間を本気で守ります」と宣言し、社内研修を通じて職員に落とし込み虐待防止に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人全体でNG(ノー虐待)プロジェクトに取り組んでいます。職員全員が『私たちは、お客様と仲間を本気で守ります』と宣言しており(アイパットの記録クリップで宣言)、身体拘束排除と併せて年間研修にも位置づけ堅固に進めている事業所です。本件のみならず総じて真面目で、管理者と介護支援専門員が各ユニットの計画作成担当者を担い、諸事相談のうえ推進して安定感は抜群です。また、利用者と利用者家族への支援も親切丁寧で、例えば排泄や入浴も安易にベッド上の交換やシャワー浴にせず、2人介助で尽力し、また認知症が軽度なための退去希望には次の転居先を探す手伝いをおこない、家族からも感謝されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 御殿場ケアセンターそよ風 箱根ユニット	職員全員で作った理念を共有し、実践につなげている。	ひとり一人を尊重した介護を目指し、果物好きの利用者のリクエストに応じて職員が買い物に走ったり、同性介助の希望もシフトを調整して対応しています。また職員の勤務年数が長く、連携も確かです。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事も中止が相次ぎ、なかなか参加できない状況だが、施設周辺を散歩し近隣の方と挨拶を交わしている。	もともと地域との関わりが薄いところにコロナ過となったため、編み物が得意な利用者にも協力を仰いでアクリルたわしを地域に配ろうとしましたが、これも本人が作れなくなり断念しています。	認知症サポーター養成講座を受講後、開催も可能となるプラスアルファにもチャレンジして、地域の小・中学校で認知症の伝道者として活躍する人の輩出を期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員さんを通じて、地域の活動に役立てる事はないかを話し合い、取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の影響で運営推進会議は開催できていないが、2か月に1度資料を配布している。年末にアンケートを実施して皆様からの意見を伺いサービス向上に努めている。	運営推進会議は2ヶ月毎に開催できていますが、コロナ過のため参会しない書面開催となっています。メンバーには議事録を届け、家族にはアンケートを同封しており、意見も得ることができています。	集まらないことでメンバーとの関係が希薄とならないよう、質問シートなどを議事録に同封していくことを期待します。
5	(4)	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所は近隣にあるため、日頃から連絡を取り、分からない事、協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。	国からは検査キッドが、更に市役所からはマスクが届いています。また1ヶ月の期間限定でしたが、市が図書館で認知症理解を掲示により啓発した折には事業所も便りを提供し、活動の様子を知ってもらう機会を得ています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、年間の社内研修に入れ込んでおり、職員全員へ落とし込みを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	真面目で誠実な管理者と介護支援専門員の下、職員のチームワークも良く、虐待や拘束とは無縁の職場ですが、今回法人が推進する「NG(ノー虐待)プロジェクト」を通じてあらためて「防止に努めよう」と気持ちを新たにしています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社全体でNG(ノー虐待)プロジェクトに取り組んでおり、職員全員が『私たちは、お客様と仲間を本気で守ります』と宣言している。社内研修に虐待防止を入れ込み職員全員へ落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に権利擁護について入れ込み、職員全員へ落とし込みを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は、十分に説明し理解して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍により家族会や運営推進会議が開催できていない状況だが、年末にアンケートを送付して施設運営への意見を頂き反映させた。	運営推進会議が書面開催となっていることから、意見を募る機会を補填するためにも家族にアンケートをとっています。「書面の変更など分かりにくいので説明が欲しい」との意見には、解説書を添付するなど工夫しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議やグループホーム会議などで話し合い、運営に反映している。	ベテランが多いためか皆言いたいことが言えていて、お互いの考えていることがわかるため、業務も円滑に廻っています。また、1名新人が入職していますが、無理なく溶け込んでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力や実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部や本社が行っている研修に参加し、施設での研修で職員に落とし込みを行い、知識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で機会が減っているが、管理者は施設ケアマネに特化した研修に参加し相互交流を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が困っている事、不安なこと、要望等をお聴きし、安心して生活して頂けるよう、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族に困り事や不安に思っている事に耳を傾け、要望等に答えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者や計画作成担当者が、ご本人やご家族の話を聴き、ご本人が必要としているサービスを見極め検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、一方的な介護ではなく、共同生活を行う中で関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係が築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は面会を制限させて頂いているが電話で会話して頂いたり、制限前は面会が難しいご家族様の元に計画書の説明で自宅に伺った時ご本人をお連れして会って頂いたり、一時帰宅等を実施している。コロナが落ち着いたら面会に向け支援を行う。	面会制限はありますが、タイミングをみつけて家族と「会える」機会をつくっています。また階下のデイサービスには家族や知人が通っていて、そこでもつかの間の逢瀬が叶っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、利用者様同士の関係を把握し、お一人お一人が孤立せず、関わり合い支え合えるような支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じてご本人やご家族のフォローを行い、相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人お一人の思いや要望は、普段の様子や日常の会話などから伺い、実現に努めている。職員間の情報共有を行っている。	介護計画書の短期目標の3ヶ月毎にアセスメントの見直しがおこなわれています。普段から「聴くこと」「話すこと」も業務として聞き取り頻度は高く、新人もそれは継承され、並んで談笑する姿があります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、ご本人からの情報で把握に努め、職員間で情報共有を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態、有する力等の把握に努め、職員間で情報共有を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映して計画書を作成している。	介護計画書の更新における家族への聞き取り確認は面会時におこなっていましたが、それが難しくなり電話に頼る面もありますが、中には自宅まで伺って話し合うケースもあり、その時は本人も同行してもらおう等、柔軟に対応しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一回ユニット会議を開催して、利用者様の情報を共有している。それ以外にも申し送りノートを活用して、利用者様に変化があった時には情報を共有し、それらを基に計画書を作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映し計画書を作成している。家族の要望、意向に沿った形で柔軟に支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人、ご家族や近隣の民生委員さん、地域包括から情報を提供して頂き、地域行事に参加させて頂いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の訪問診療があり、日々の健康管理を行っている。かかりつけ医への受診は、ご家族が対応しているがご家族の対応が難しい時には、主に管理者が対応している。	月2回訪問診療に訪れる協力医は看護師も同伴くださり、丁寧に診てくださいます。立ちあいは管理者と介護支援専門員で、週1勤務の看護師にもケアカルテと往診ノートをチェックしてもらい、共有しています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	DSと兼務の看護師が、定期的にGHを訪問し個々の状況把握に努めている。その際に職員は気になることを伝え情報共有を行っている。また協力病院の担当看護師が急な受診など対応してくれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当看護師やSW等と情報交換を密に行い、治療内容、退院時期、退院後の対応等を細かく伝えてもらうなど良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分に説明している。終末期の在り方についても状況に応じ、往診時にご家族に同席して頂き、医師から説明して頂いている。	重度化した場合の対応などを記した指針を備え、契約時に家族とは合意形成できていますが、気持ちは都度変わるため、兆候がみられたら医師の指導も仰ぎつつ、家族と相談しています。	地域の訪問看護事業所のサービス内容を確認するなど、今からできることを整備していくことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示しており、年に数回研修を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防防災訓練を実施している。なるべく地域の防災訓練にも参加させて頂けるよう努めている。	年間の計画に避難訓練を位置づけ洩れなく実施しています。7月を終えています。水消火器を使っていなかったため、12月は使用の予定です。備蓄は3日ほどあり、ローリングストックも含むと5日弱あります。	ベテランが多く訓練体験者ばかりですので、今後は連絡体制や備蓄の種類の見直しなどにも尽力されることを期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、ほこりやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	夜間の徘徊がやまない人がいます。居室の扉を開けて、いつでも確認できるようにするとともに、本人に伴うだけでなく、職員の業務にも帯同してもらうことで、本人を抑制しない介護に至っています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話に傾聴し思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースを大切に、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や外出時等の整容の支援、定期的に散髪やヘアカラーを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節のものやバランスを考え提供している。入所者様の誕生日には、お好きなメニューをお伺いして提供している。パン好きな利用者様のために朝食にパンを提供することもある。	3名がミキサー食となっておりますが、毎回の献立は皆が「また食べたい」と思うようなものに工夫しています。特に「うなぎ」「あなご」「ちらし寿司」の人气が高く、事業所でも頻度を高めています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎食記録し、栄養バランスを考え提供している。利用者様に合わせた食事形態や、量が減っている方へは高カロリー食品、ムセがある方へはゼリー飲料等、利用者様の状況を把握しお一人お一人に合わせ提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。できない方へは口腔ケア用ガーゼを使用するなど職員が介助している。義歯は毎夜消毒している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせたトイレ誘導や介助を行っている、不快なく過ごして頂けるよう支援している。	車いすが必要となった人が5名います。立位の保てない1名はベッド上の交換となっていますが、他は体調がわるく職員2人での介助となっても「トイレで」を励行し、利用者の身体機能保持に努めています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を摂って頂いたり、適度な運動を促している。便秘の時は、ご本人の様子を伺い適宜緩下剤も使用し便秘の状態が続かないよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を伺いながら、定期的に入浴して頂いている。入浴剤や季節によっては菖蒲やユズ風呂を楽しんで頂いている。	入浴中は1対1となる貴重な場として「話をよく聴く」ことが出来ています。また風呂あがりにはイオンサポート(スポーツドリンク)を用意して、さらにさっぱりしてもらっています。柚子や菖蒲などの時節風呂も都度提供しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣やその時の状況に応じ、休息や睡眠を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬している薬剤情報を共有している。服薬支援や症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	コロナ禍のため、買い物等外出の支援は難しい状況だが、施設内敷地や周辺を散歩したり、施設対応の受診の際少しドライブするなど外出支援している。ご家族と会うため自宅を訪問する時、ご本人をお連れしたこともある。	エスケープの症状のある人の気晴らしになればと、少し足を延ばすことはありますが、大抵は事業所の周りをぐるっと散歩する程度に留まっています。足腰は階下のデイサービスの機器が、衰えの進行を助けています。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ化で現在は外出は難しい状況だが、もう少し落ち着いたら職員と買い物に行き、好きなものや必要なものを選び、ご自分で支払うことができるよう支援していく。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族やご本人から要望があった時は電話で話して頂いたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快や混乱を招くような刺激がないよう配慮し、居心地よく過ごせるように努めている。	換気は1時間1回とこまめにおこない、次亜塩素酸水は噴霧器で拡散するほか、リビングにはアクリルパネルを置き、衛生を保っています。レクでは日本の地名のゲームなどで回想をはかり、気持ちも穏やかになるよう配慮しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でゆっくり過ごされる方や、共有空間にあるソファでくつろぐ方もおり、思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に持ってきたものやご家族が持って来られたもので、その方らしい居場所を作っている。	携帯電話が2名、テレビが3名と、最近は電気器具の持ち込みが目立ちます。またコロナ過で面会がしにくい状況から、「わたしたちのことを忘れないように」と家族写真も届いています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできる事、分かる事を活かし、できるだけ自立した生活が出来るよう支援している。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社 ユニマツ リタイアメント・コミュニティ		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風 箱根ユニット		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	令和4年9月9日	評価結果市町村受理日	令和4年12月13日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kami=true&JigyosyoCd=2291200034-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 静岡評価調査室		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	令和4年10月9日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

今期は全社をあげて『NGプロジェクト』に取り組んでいます。これは『NO虐待』の略です。職員全員が社内動画共有サービスで「私たちはお客様と仲間を本気で守ります」と宣言し、社内研修を通じて職員に落とし込み虐待防止に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

法人全体でNG(ノー虐待)プロジェクトに取り組んでいます。職員全員が『私たちは、お客様と仲間を本気で守ります』と宣言しており(アイパットの記録クリップで宣言)、身体拘束排除と併せて年間研修にも位置づけ堅固に進めている事業所です。本件のみならず総じて真面目で、管理者と介護支援専門員が各ユニットの計画作成担当者を担い、諸事相談のうえ推進していて安定感は抜群です。また、利用者と利用者家族への支援も親切丁寧で、例えば排泄や入浴も安易にベッド上の交換やシャワー浴にせず、2人介助で尽力し、また認知症が軽度なための退去希望には次の転居先を探す手伝いをおこない、家族からも感謝されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 御殿場ケアセンターそよ風 箱根ユニット	職員全員で作った理念を共有し、実践につなげている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の行事も中止が相次ぎ、なかなか参加できない状況だが、施設周辺を散歩し近隣の方と挨拶を交わしている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員さんを通じて、地域の活動に役立てる事はないかを話し合い、取り組んでいる。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	コロナ禍の影響で運営推進会議は開催できていないが、2か月に1度資料を配布している。年末にアンケートを実施して皆様からの意見を伺いサービス向上に努めている。		
5	(4)	静岡市葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市役所は近隣にあるため、日頃から連絡を取り、分からない事、協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施設を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについて、年間の社内研修に入れ込んでおり、職員全員へ落とし込みを行い身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会社全体でNG(ノー虐待)プロジェクトに取り組んでおり、職員全員が『私たちは、お客様と仲間を本気で守ります』と宣言している。社内研修に虐待防止を入れ込み職員全員へ落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社内研修に権利擁護について入れ込み、職員全員へ落とし込みを行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は、十分に説明し理解して頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	コロナ禍により家族会や運営推進会議が開催できていない状況だが、年末にアンケートを送付して施設運営への意見を頂き反映させた。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ユニット会議やグループホーム会議などで話し合い、運営に反映している。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力や実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう評価している。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部や本社が行っている研修に参加し、施設での研修で職員に落とし込みを行い、知識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	コロナ禍で機会が減っているが、管理者は施設ケアマネに特化した研修に参加し相互交流を行っている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人が困っている事、不安なこと、要望等をお聴きし、安心して生活して頂けるよう、関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族に困り事や不安に思っている事に耳を傾け、要望等に答えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者や計画作成担当者が、ご本人やご家族の話を聴き、ご本人が必要としているサービスを見極め検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、一方的な介護ではなく、共同生活を行う中で関係が築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係が築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	現在は面会を制限させて頂いているが電話で会話して頂いたり、制限前は面会が難しいご家族様の元に計画書の説明で自宅に伺った時ご本人をお連れして会って頂いたり、一時帰宅等を実施している。コロナが落ち着いたら面会に向け支援を行う。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず、利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員は、利用者様同士の関係を把握し、お一人お一人が孤立せず、関わり合い支え合えるような支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても、必要に応じてご本人やご家族のフォローを行い、相談や支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お一人お一人の思いや要望は、普段の様子や日常の会話などから伺い、実現に努めている。職員間の情報共有を行っている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、ご本人からの情報で把握に努め、職員間で情報共有を行っている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態、有する力等の把握に努め、職員間で情報共有を行っている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映して計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一回ユニット会議を開催して、利用者様の情報を共有している。それ以外にも申し送りノートを活用して、利用者様に変化があった時には情報を共有し、それらを基に計画書を作成している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映し計画書を作成している。家族の要望、意向に沿った形で柔軟に支援に努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人、ご家族や近隣の民生委員さん、地域包括から情報を提供して頂き、地域行事に参加させて頂いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月に2回の訪問診療があり、日々の健康管理を行っている。かかりつけ医への受診は、ご家族が対応しているがご家族の対応が難しい時には、主に管理者が対応している。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	DSと兼務の看護師が、定期的にGHを訪問し個々の状況把握に努めている。その際に職員は気になることを伝え情報共有を行っている。また協力病院の担当看護師が急な受診など対応してくれている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院先の担当看護師やSW等と情報交換を密に行い、治療内容、退院時期、退院後の対応等を細かく伝えてもらうなど良好な関係ができています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分に説明している。終末期の在り方についても状況に応じ、往診時にご家族に同席して頂き、医師から説明して頂いている。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示しており、年に数回研修を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回防災訓練を実施している。なるべく地域の防災訓練にも参加させて頂けるよう努めている。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、ほこりやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の話に傾聴し思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お一人お一人のペースを大切に、個々の希望に沿った過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時や外出時等の整容の支援、定期的に散髪やヘアカラーを行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	季節のものやバランスを考え提供している。入所者様の誕生日には、好きなメニューをお伺いして提供している。パン好きな利用者様のために朝食にパンを提供することもある。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量は毎食記録し、栄養バランスを考え提供している。利用者様に合わせた食事形態や、量が減っている方へは高カロリー食品、ムセがある方へはゼリー飲料等、利用者様の状況を把握しお一人お一人に合わせ提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアを行っている。できない方へは口腔ケア用ガーゼを使用するなど職員が介助している。義歯は毎夜消毒している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせたトイレ誘導や介助を行い、不快なく過ごして頂けるよう支援している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維を摂って頂いたり、適度な運動を促している。便秘の時は、ご本人の様子を伺い適宜緩下剤も使用し便秘の状態が続かないよう支援している。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	ご本人の希望を伺いながら、定期的に入浴して頂いている。入浴剤や季節によっては菖蒲やユズ風呂を楽しんで頂いている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣やその時の状況に応じ、休息や睡眠を取って頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬している薬剤情報を共有している。服薬支援や症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナ禍のため、買い物等外出の支援は難しい状況だが、施設内敷地や周辺を散歩したり、施設対応の受診の際少しドライブするなど外出支援している。ご家族と会うため自宅を訪問する時、ご本人をお連れしたこともある。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	コロナ化で現在は外出は難しい状況だが、もう少し落ち着いたら職員と買い物に行き、好きなものや必要なものを選び、ご自分で支払うことができるよう支援していく。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族やご本人から要望があった時は電話で話して頂いたり、手紙のやり取りが出来るよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快や混乱を招くような刺激がないよう配慮し、居心地よく過ごせるように努めている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室でゆっくり過ごされる方や、共有空間にあるソファでくつろぐ方もおり、思い思いに過ごされている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所時に持ってきたものやご家族が持って来られたもので、その方らしい居場所を作っている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりのできる事、分かる事を活かし、できるだけ自立した生活が出来るよう支援している。		